

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	非接触での分布触覚提示が生体に及ぼす効果の系統的解明と応用展開
研究代表者	篠田 裕之 (東京大学・大学院新領域創成科学研究科・教授) ※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>超音波を用いた非接触触覚提示技術「空中ハプティクス」は、応募者らによって提案された革新的な技術である。本研究は、この技術を踏まえ、触覚刺激を与える空間を飛躍的に拡張した視触覚提示システムを構築し、新しい仮想3次元インタラクションの形を探る意欲的な提案である。システム構築のための波面制御方法の確立、超音波振動子アレイの軽量化など挑戦的な課題を含むが、これまでの実績から確実な研究成果を上げることが期待される。これにより、新たなインタフェース、コミュニケーションの形を生み出す可能性を秘めており、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>